

菜流寺

平成 26 年 1 月 3 日発行

正月だより

東澤山 菜流寺
 住職 武山清堂
 〒 421-2102 静岡市葵区油島 122
 電話 054-294-1215
 (電話は秘在寺へ転送されます)
 seido@hizaiji.net
 http://hizaiji.net/ (秘在寺)
 http://ashita-an.hizaiji.net/ (あした庵)



新春を迎え

檀信徒の皆様のご多幸をお祈り申し上げます



旧年中は大変お世話になりました。
 今年もどうぞよろしく
 お願い致します。

今年の行事予定をお知らせします。どうぞ皆様大勢参加し、菩提寺の活動をご支援下さい。

・新年の集い

一月二十六日(日) 午後二時より
 巻末の案内をご覧になり、組長さんへ出欠をご連絡下さい。

・お彼岸の集い

二月二十日(木) 午後一時半より
 春彼岸供養会 ご先祖にお参りし、本山妙心寺の布教師様の法話をお聞きします。後日お知らせを配布します。
 布教師 愛知県西予市

三宝寺住職 福山宗徳師

・夏の草刈り奉仕作業

七月二十七日(第四日曜日) 午前八時から(俵沢三・四組にお願いします)

・施餓鬼会

八月九日(金) 十時より
 評議委員さんは八時から準備をお願いします。



◆ 墓地参道補修工事

旧墓地の下参道の路肩が崩壊し、浮いた状態になって危険なため、役員会で相談した結果、なおすことになりました。資材は静岡市から現物支給をしていただき、H型鋼で路肩を作り鉄筋をメッシュに配筋し、10cmのコンクリートを打設しました。崩壊の危険は無くなりましたが、柵がありませんので気を付けてご利用下さい。
 なお、旧墓地上参道は勾配がきつく雨天の際に滑りやすいので、手すりを設置する作業を合わせて業者に依頼しました。ご尽力いただきました方々に、感謝申し上げます。

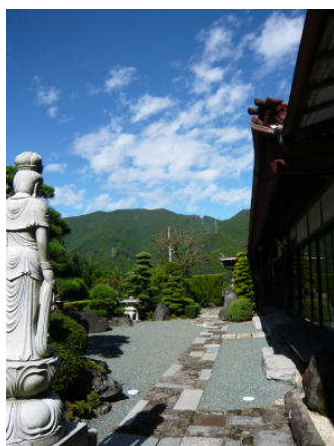


↑ 12/24 撮影

← 修繕前



空と緑があまりにきれいだったので・・・



檀家さんでなくても
なたでも参加できます



詳細は秘在寺へお問い合わせ下さい。

◆お参りの旅

○高野山

三月三十一日～四月一日を計画しています。こちらからバスで行き、一泊二日の予定です。山内をじっくり見て歩き、宿坊では精進料理を味わいます。費用は三万円前後になると思います。既にお申し込みの方には後日詳細をお届けします。行ってみたい方、ご連絡下さい。

○西国三十三観音巡拝

人数がまとまったら西国三十三観音巡拝をしたいと思っています。二泊三日で三々四回になるでしょう。満願を考えると部分参加でも良いと思います。



一番は和歌山県の青岸渡寺ですが、ここは熊野古道や那智の滝で有名です。熊野古道をちよこつとでも歩いてみたいですね。札所は奈良・京都・滋賀・兵庫・岐阜と広範囲にわたっており、京都では清水寺など市中の有名寺院も含まれ、天橋立をのぞむ成相寺や、琵琶湖に浮かぶ竹生島(ちくぶじま)にある宝厳寺など、有名な観光地も多いです。こちらからバスで行くことになるので最低十五名は必要

です。交通不便なところも多い個人ではなかなか行きにくいので、この機会に思いきって一緒に行ってみませんか？

○日帰りのお参り旅行

計画中です。新東名を利用して、少し遠出をしようかと考えています。

◆講座の予定

○数珠作り

一月二十二日(水) 午後一時半
希望があれば夜もやります。ご連絡下さい

○写経

二月十二日(水) 午後一時半

毎月第二水曜に開催予定です。書き込み式「般若心経」練習帳を使って、般若心経の意味を学びながら少しずつ書いていきます。鉛筆・ボールペン・筆ペン何でもいいです。ご希望の方はこの本を注文します。で、一月中にお電話下さい。本の代金は千円です。



○お茶

一月六日(月) 午前十時(着付け練習) 昼食後 初釜

一月からは第一水曜の午後一時半。どなたでもお気軽にお出かけ下さい。特別な道具もありません。お茶を飲んで下さるだけでも歓迎です。会費五百円

その他、紙漉き・お菓子教室・御詠歌などやっております。

◆わらび座 ミュージカル「ブッダ」

ミュージカル
ブッダ
buddha

原作 手塚 治虫
脚本 齋藤 雅文
演出 栗山 民也
作曲 甲斐 正人

2014年3月7日(金) 静岡市民文化会館中ホール
開演 14:00 開演 14:30 終演 16:35
主催 静岡市民文化会館
企画 静岡市教育委員会
協賛 静岡市文化芸術振興会

チケットの取扱店
TSUTAYA 全中野村プレイガイド 054-251-1233
b57 静岡オンラインチケット <http://www.b-get.jp/warabi/dt/>
FAX 及び メール 受付 052-632-6221 o-tsuka@warabi.jp

入場料
※観劇券は当日現金でのみ受付可能
※観劇券は当日現金でのみ受付可能

■S席:4,500円▶A席:4,000円

手塚治虫の「ブッダ」は、仏教の祖・仏陀に独自の視点を与え、生きる意味を問う、歩き続けて行く人間・ブッダの物語として描かれています。時代と民衆の渦の中でひたむきに生きるブッダの姿は、二千五百年経った今も、悩み苦しみなながら現代を生きる私たち、「生きる」とは何かの根源を投げかけてくれます。

お問い合わせは秘在寺へ。

◆いろはもみじ

秘在寺本堂前に植えていたいろはもみじが紅葉している間、夜間にライトアップしたのですが、なかなかきれいでした。ちなみに「いろはもみじ」の名は葉が「いろはにほへと」の七つに裂けているからだそうです。



秘在寺でのイベント報告です。

◆シフクノトキ

九月十五日(日)に音楽イベント「シフクノトキ」が行われました。今回のイベントは私の中学校時代の同級生たちが主になって企画運営をしました。地元を盛り上げたいという思いを聞き、その思いに共感すると共に感謝の気持ちを持って半年以上前から一緒に計画してきました。その熱意が天に通じたのか当日は台風直撃の降水確率一〇〇%の予報の中、奇跡的にイベントが終わるまで雨が降りませんでした。



KGM

仙台在住のシンガーソングライター

当初は屋上で開催の予定が台風のため本堂内で演奏

色々なお店が並び、心地よい音楽が流れて、主に三十〜四十代の二百名弱の方々にぎわいました。新しい秘在寺の方々に使われ方ができた一日でした、今後とも集まってもらえるイベントを計画していきたいと思っています。町内の皆様には車両の往来や歓声等の騒音でご迷惑をかけたが、ご協力いただきありがとうございます。

(副住職記)

◆そらの道まつり

昨年はお休みしたその道のまつりなので、どのくらい来て下さるか心配しました。前回を上回る大勢の皆様に来ていただき、ありがとうございました。



会場が今までと変わりましたが、スタッフの皆さんのご協力で、特に大きなトラブルもありませんでした。ありがとうございました。



ステージと売店



本堂での茶席

◆ダライラマ来静

ダライラマ法王と世界の平和を祈る二日間」というタイトルで十一月二十一日に講演会、二十二日に「世界の平和を祈る祭典 in 日本平」が開催されました。秘在寺では住職・副住職・寺庭が両方に参加しました。

講演では、誰もが同じ立場の一人の間として平等である事を認識しなければいけないということ、そして祈るだけでは届かない、行動をしなければいけない、平和になるためにはまず自分自身が幸せにならないといけない、また幸せの源は他人への愛情であること、などお話しになりました。その後質問を受けつけましたが、回答がとて論理的であることが印象的でした。



法王殿下は七十八歳ですが、とてもエネルギッシュでまた会場のあちこちが笑顔になるほど話をされた。それの方で。

二日目は日本平にて美しい富士山をバックに神道、キリスト教、イスラム教、修験道、日本仏教、チベット仏教それぞれが平和を祈る法要を行いました。

このような宗教、宗派を超えての祭典は非常に稀なことだと思いません、初めて目に耳にするものばかりで様々の祈りの形に驚きました。

そして宗教・宗派は違えど愛と慈悲の心を持ち自分を高めていくという目的は変わらぬ、そんな法王猊下の言葉が印象的でした。

◆四国遍路満願

十一月十八〜二十日、二泊三日で最後のお参りの旅に行ってきました。まずは八人が無事に満願することができたことに感謝しています。今回は前回に比べ、天候が不安定で寒さが厳しく、雨だけだけでなくあられが降ったこともありました。風も強い日が多かったので、ろうそくや線香に火をつけるのに苦労しました。

まだ遍路シーズン中だったので、大型バスのお遍路さん一行もいて、どの札所も賑やかでした。階段をたくさん上る札所もけっこうありました。金比羅さんにも行ったので、なかなか大変でしたが、どこも全員それぞれの脚力に合わせて上りきりました。最後の大窪寺の大師堂でお経と御詠歌を唱えたときには感無量でした。



平成 26 年「新年の集い」ご案内

平成 26 年「新年の集い」を下記の日程で開催いたします。前回に負けないうらい楽しい新年会にしたいと思っております。どうぞ万障繰り合わせの上、ご出席下さいますようよろしくお願いいたします。

記

- | | |
|-------|------------------------------------|
| 1 日 時 | 平成 2 6 年 1 月 2 6 日 (日)
午後 2 時より |
| 2 場 所 | 菜流寺本堂 |
| 3 会 費 | 2,000 円 (当日受付にお出し下さい。) |

*** 各組組長さんは、お手数をかけて申し訳ございませんが、出席者のお名前を同封の用紙に記入の上、1月15日までに秘在寺へご連絡下さい。**

電話 294-0542
Fax 294-0709

